

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	神奈川工科大学
設置者名	学校法人幾徳学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ(計算書類) https://www.kait.jp/about/biz_report/
収支計算書又は損益計算書	ホームページ(計算書類) https://www.kait.jp/about/biz_report/
財産目録	ホームページ(財産目録) https://www.kait.jp/about/biz_report/
事業報告書	ホームページ(事業報告書) https://www.kait.jp/about/biz_report/
監事による監査報告(書)	ホームページ(監事の監査報告書) https://www.kait.jp/about/biz_report/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:2022年度事業計画書)	対象年度:2022年度)
公表方法:ホームページ(事業計画書)	https://www.kait.jp/about/biz_report/
中長期計画(名称:中期目標・計画(2019~2025年度))	対象年度:2019~2025年度)
公表方法:	https://www.kait.jp/about/pdf/mediumtarget_2019-2025.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:ホームページ(大学基準に適合) https://www.kait.jp/topics/accreditation/juaa.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:ホームページ(大学基準に適合) https://www.kait.jp/topics/accreditation/juaa.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ（学部学科等の教育目的） https://www.kait.jp/about/aim/ ）
（概要） 「考え・行動する人材の育成～社会で活躍できる人づくり～」を目的として、「ディプロマポリシー」と「カリキュラムポリシー」と「アドミッションポリシー」を一体的に策定し展開している。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ（学部学科等の教育目的） https://www.kait.jp/about/aim/ ）
（概要） ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）として以下の内容を定めている。 1. 創造的思考力 専門技術を持った職業人として、知識、技能、情報を活用することで専門分野の課題解決にむけて主体的に行動することができる。また、新たな問題を発見して、新しい価値を生み出すことができる。 (1)創造力 新たな問題を発見して、解決することができる。また、新しい価値を生み出すことができる。 (2)課題解決力 専門分野の課題について現状を分析し、解決方法を明らかにして、その課題を解決することができる。 (3)行動力 自らやるべきことを見つけて目的を設定し、計画をたて、積極的かつ確実に行動することができる。 2. チームワーク 多様な人々とともに、目標に向けて協力しながら課題解決や創造的な仕事を行うことができる。そのための自分の考えを伝える力、相手の意見を聞く力、意見や立場の違いを理解する力をもっている。 (1)コミュニケーション力 自分の知識や意見をわかりやすく伝えることができる。また、内容の確認や質問をとおして、相手の意見を理解することができる。 (2)社会的責任と倫理観 周囲から期待されている自分の役割を把握し、行動することができる。また、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解している。さらに、専門分野の職業倫理を理解している。 3. 基礎学力 職業人の素養としての基礎知識を持ち、専門分野における基本的な知識・技能を体系的に理解している。 (1)専門分野の基礎的な知識・技能 専攻する専門分野における基本的な知識・技能を体系的に理解している。 (2)職業人の素養としての基礎知識 自然、社会、多様な文化に関する基礎知識を理解している。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ（学部学科等の教育目的） <https://www.kait.jp/about/aim/> ）

（概要）

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）として以下の内容を定めている。

(1) 基礎力育成を重視した教育

職業人としての基礎力、専門のための基礎学力の向上を重視した教育を行う。

(2) 共通基盤教育と専門教育

全学的な共通基盤教育では、大学での学びへの興味関心を高め、グローバル化する社会に対応した職業人としての素養を身につける教育を行う。それを基盤として、学科の専門教育では、専門分野の知識・技能を理解して活用する力を身につける教育を行う。

(3) 学力にあった教育

学力向上のために多様な演習・課題を課して、一人一人の学力にあった教育を行う。

(4) 創造性を育む能動・体験型教育

主体的に問題解決に取り組む態度と創造性を育むために能動・体験型教育を行う、また総合的な学習経験と創造的な思考力を向上させるユニット型教育を行う。

(5) 得意分野を伸ばす個人指導

セミナー、卒業研究など個人指導によって、一人一人の得意な分野を伸ばす教育を行う。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ（学部学科等の教育目的） <https://www.kait.jp/about/aim/> ）

（概要）

アドミッション・ポリシー（入学受入れの方針）として以下の内容を定めている。本学は、教育目的に定める人材を育成するために、高等学校等までの学習や課外活動等を通じ、入学後の各学科の学びに必要な基礎学力、自ら考えて判断して表現する力、主体性を持って多様な人々と協働して課題を解決する力を持ち、大学における学修を通じて職業人として社会に貢献しようとする意欲を持った人を求める。

そのため、入学者の選抜にあたっては、これらの要素を持つ受験生の個性や多様性に鑑み、多彩な選抜方法により選抜を行う。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページ（組織図）

<https://www.kait.jp/about/pdf/sosikizu.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
工学部	—	18人	7人	5人	3人	2人	36人
創造工学部	—	17人	6人	1人	4人	0人	28人
情報学部	—	33人	10人	9人	3人	1人	56人
応用バイオ科学部	—	8人	6人	2人	1人	0人	17人
健康医療科学部	—	23人	9人	7人	5人	14人	58人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			338人				338人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：ホームページ 学位 http://joho.kait.jp/kyogakui.pdf 業績 http://joho.kait.jp/kyogyoseki.pdf					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
FDの実施状況については年10回開催している「教育力向上ワークショップ」で専門的な内容を実施し、教職共同の内容では「オンライン授業検討会」を実施している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
工学部	258人	279人	108.1%	1032人	1104人	107.0%	若干名	1人
情報学部	460人	517人	112.4%	1720人	1902人	110.6%	若干名	0人
創造工学部	145人	122人	84.1%	580人	583人	100.5%	若干名	0人
応用バイオ科学部	125人	71人	56.8%	500人	387人	77.4%	若干名	0人
健康医療科学部	160人	162人	101.3%	760人	660人	86.8%	若干名	0人
合計	1148人	1151人	100.3%	4592人	4636人	101.0%	若干名	1人
(備考) 2022年度入学定員変更 情報学部 420名→460名、健康医療科学部 200名→160名								

学部等名	卒業生数、進学者数、就職者数			
	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
工学部	229人 (100%)	21人 (9.2%)	198人 (86.5%)	10人 (4.4%)
情報学部	363人 (100%)	18人 (5.0%)	299人 (63.1%)	46人 (12.7%)
創造工学部	129人 (100%)	14人 (10.9%)	107人 (82.9%)	8人 (6.2%)
応用バイオ科学部	113人 (100%)	9人 (8.0%)	91人 (80.5%)	13人 (11.5%)
健康医療科学部	165人 (100%)	1人 (0.6%)	158人 (95.8%)	6人 (3.6%)
合計	999人 (100%)	63人 (6.3%)	853人 (85.4%)	83人 (8.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 鹿島建設㈱、㈱きんでん、山九㈱、ソフトバンク㈱、富士通㈱、日産自動車㈱、東日本旅客鉄道㈱ (JR 東日本)、国立成育医療研究センター、日清医療食品㈱、国立病院機構災害医療センター、北里大学病院、神奈川県立こども医療センター 他、信州大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学、川崎医療福祉大学大学院 他				
(備考)				

学部等名	修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数				
	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
工学部	280人 (100%)	209人 (75%)	38人 (13%)	24人 (9%)	9人 (3%)
情報学部	429人 (100%)	322人 (75%)	55人 (13%)	40人 (9%)	12人 (3%)
創造工学部	158人 (100%)	122人 (77%)	18人 (11%)	12人 (8%)	6人 (4%)
応用バイオ科学部	123人 (100%)	99人 (81%)	15人 (12%)	5人 (4%)	4人 (3%)
健康医療科学部	211人 (100%)	155人 (74%)	28人 (13%)	23人 (11%)	5人 (2%)
合計	1201人 (100%)	907人 (75%)	154人 (13%)	104人 (9%)	36人 (3%)
(備考) 2018年度入学生 除籍者はその他に記載					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業科目、授業の方法及び学年暦・時間割については、毎年作成する冊子「履修&授業 Guide Book」および冊子「履修要綱」にて履修・授業などに関する基本事項として授業科目や授業形態を示し、インターネット上で展開する「シラバス」にて確認できるようにしている。加えて、年間の授業などの計画については、学年暦および各学科で時間割を策定し、印刷の上、学生に配布するとともに年度当初に行うガイダンスにおいても履修及び修学に関する指導を行っている。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
毎年作成する冊子「履修&授業 Guide Book」および冊子「履修要綱」にて履修・授業などに関する基本事項として各授業の評価及び修了に当たっての基準を示し、年度当初に行うガイダンスにおいても指導を行っている。				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
工学部	機械工学科	124 単位	有・無	48 単位
	電気電子情報工学科	124 単位	有・無	48 単位
	応用化学科	124 単位	有・無	48 単位
情報学部	情報工学科	124 単位	有・無	48 単位
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	124 単位	有・無	48 単位
	情報メディア学科	124 単位	有・無	48 単位
創造工学部	自動車システム開発工学科	124 単位	有・無	48 単位
	ロボット・メカトロニクス学科	124 単位	有・無	48 単位
	ホームエレクトロニクス開発学科	124 単位	有・無	48 単位
応用バイオ科学部	応用バイオ科学科	124 単位	有・無	48 単位
健康医療科学部	看護学科	124 単位	有・無	(2021 年度以前入学) 42 単位 (2022 年度以降入学) 46 単位
	管理栄養学科	124 単位	有・無	48 単位
	臨床工学科	136 単位	有・無	48 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：毎年制作・発行する冊子「Campus Life Guide」内「履修&授業編」にて制度を紹介すると共に、「学科別・年次別成績優秀者表彰の選定基準」及び「成績不振者への通知基準」として用いている。		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：本学ホームページにおける IR 情報において「学生の学修時間・学修実態」として情報を公表している。 https://www.kait.jp/about/pdf/ir_2021_01.pdf		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ (キャンパスマップ・施設紹介) https://www.kait.jp/about/facility/
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
工学部	機械工学科	1,370,000円	200,000円	48,000円	
	電気電子 情報工学科	1,370,000円	200,000円	48,000円	
	応用化学 科	1,370,000円	200,000円	48,000円	
情報学部	情報工学科	1,370,000円	200,000円	48,000円	
	情報ネット ワーク・コミ ュニケー ション学 科	1,370,000円	200,000円	48,000円	
	情報メデ ィア学科	1,370,000円	200,000円	48,000円	
創造工学 部	自動車シ ステム開 発工学科	1,370,000円	200,000円	48,000円	
	ロボッ ト・メカ トロニク ス学科	1,370,000円	200,000円	48,000円	
	ホームエ レクトロ ニクス開 発学科	1,370,000円	200,000円	48,000円	
応用バイ オ科学部	応用バイ オ科学科	1,370,000円	200,000円	48,000円	
健康医療 科学部	看護学科	1,660,000円	200,000円	48,000円	
	管理栄養 学科	1,470,000円	200,000円	48,000円	
	臨床工学 科	1,460,000円	200,000円	48,000円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) クラス担任制を採り、クラス担任は欠席の多い学生の状況把握を行い、早期に問題解消に向けた助言を行っている。「IR・企画推進室」において学生に関わる全ての情報を集約・分析をおこない、その結果をクラス担任や関係部署へ情報提供し修学支援に活用している。また、多様な学習履歴を持つ学生の学習支援を行うため、基礎教育支援センターを開設し補完教育も行っている。加えて、学生によるピアサポート組織「KAITpia」（カイトピア）を設置し、授業のサポート、自主講座などを学生が主体となって活動し学び合いによる支援を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリア就職課において就活全般に関するセミナー開講、合同企業説明会実施、国家資格キャリアコンサルタント有資格者を含む専任職員およびキャリアアドバイザーによる個別相談対応、全学科設置の学科就職事務室による求人等の情報提供、インターンシップ推進室におけるインターンシップ参加に向けた支援、公務員試験対策室による支援。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生の心身の健康支援は、学生が相談しやすいように学生用相談窓口は複数設け、学生相談室、学生サポート室（障害学生支援等）、健康管理室、クラス担任および学生課が窓口となり、学生相談の対応を行っている。また、健康診断時に心の変調を早期に把握するためのチェックテストを実施し、リスクの高い学生には学生相談室来室を勧奨している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ（情報公表） http://joho.kait.jp/
--